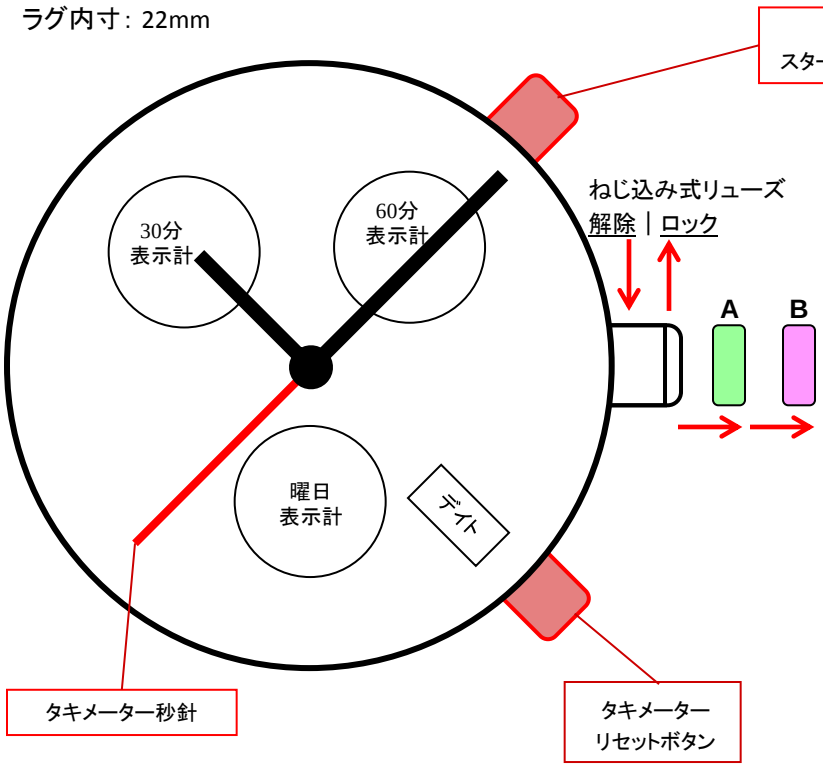
MVT NO: CITIZEN OS20

ラグ内寸：22mm



【リューズ位置】

- 通常位置＝リューズをねじ込んだ状態
  * ねじ込み解除：手前に回す
  * ねじ込みロック：押し込みながら奥に回す
- A位置（1段階引き出し）
  ＝日付合わせ：手前に回す
- B位置（2段階引き出し）
  ＝時刻合わせ：手前または奥に回す
  ＝24時間で曜日が1日更新されます。

※時計の針が、午後9時～午前1時を示している間は、日付変更をしないでください。この時間帯で設定を行なうと、日付が正しく変更されません。
やむをえずこの時間帯に日付変更を行なう場合は、午後9時～午前1時以外の時刻に針を動かした後に、日付変更を行なってください。

【国際信号旗の歴史】

18世紀にはイギリスの海軍提督リチャード・ハウが、主に数字を意味する複数の信号旗を用い、その数字を符号として単語に置き換え旗の掲揚を繰り返すことで、文章も含めた通信を行なう方法を考案。これは、後の海軍提督ホーム・リッグス・ポップハムによって改良され、トラファルガー海戦でも通信に使用されています。そして、旗による信号が発展し、1857年に国際信号書として「国際信号旗」が定められました。旗りゅう信号は、ひとつの旗がアルファベット1文字、もしくは、数字(またはひらがな)に対応、さらに符字としても旗ごとに特定の意味を持っています。

【国際信号旗】

船と船、船と陸上の間の信号に用いる世界共通の旗。アルファベット文字旗26，数字旗10，代表旗3，回答旗1の計40の旗から成り、これを組み合わせて通信を行います。中世ヨーロッパで、船舶間の通信に旗を用いました。